

「紅葉賀」(「源氏物語図屏風」より)

企画展

# 源氏物語 の世界

平成20年9月14日(日) — 10月19日(日)

- 開館時間 9時—17時(入館受付は16時30分まで) 月曜日休館(月曜祝日の場合は翌日)
- 入館料 一般300円 高校生200円 小・中学生無料 友の会会員無料
- 障害者手帳提示の方・付添者・引率者無料
- 団体(20名様以上)・シルバークード提示の方 2割引
- ギャラリートーク 毎週土曜日14時から

林原美術館

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15

TEL(086)223-1733

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>



# 源氏物語の世界

日本が誇る『源氏物語』が紫式部によって記されてから、今年でちょうど千年を迎えます。

『源氏物語』は、桐壺帝の皇子である光源氏が主人公です。光源氏は、幾多の恋愛を繰り広げながら、位人臣を極めますが、晩年にいたって愛情の破綻による無常さを覚えます。そして光源氏の没後、京都の宇治を舞台にして、子の薫と孫の匂宮たちの恋愛が記される全54帖からなる長編の物語です。平安時代末期には既に絵画化され、その後も様々な形で日本の文化に影響を与えています。

当館では『源氏物語』の名場面を描いた「源氏物語図屏風」をはじめとして、近世に描かれた絵画や書跡を多数所蔵していますが、今回はこれら以外にも、源氏絵がほどこされた蒔絵や、『源氏物語』に主題を求めた能楽関係資料も展示します。

中でも江戸時代を通じて最も流布した、北村季吟が著した『源氏物語』の注釈書である『湖月抄』や、平安時代を代表する祭りである、上賀茂神社の祭礼を描いた賀茂祭行列図絵巻、同じく下鴨神社の祭礼を描いた御蔭山神幸行列図絵巻は、今回が初展示となります。

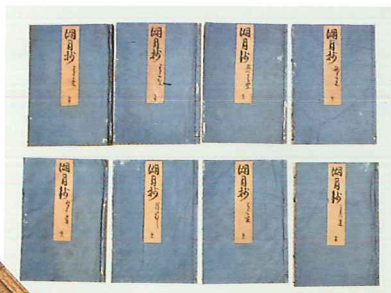
本展を通じて、千年の長きにわたり、日本の文化に影響を与え続けた『源氏物語』の新たな世界に、思いを馳せていただきたいと思います。



石山月図 狩野尚信筆  
江戸時代  
富士見西行・小野雪・石山月図 三幅の内



初音・紅葉賀図 池田斉敏筆 江戸時代



『湖月抄』 北村季吟著 江戸時代



初音蒔絵文台 江戸時代



賀茂祭行列図絵巻 江戸時代

## 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15 TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

\* 車椅子対応の設備あります。

交通 / JR岡山駅から徒歩25分 / 路面電車[東山行]県庁下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



### 次回予告

特別展「近衛家の名宝 陽明文庫」

平成20年10月25日(土)~11月30日(日)

陽明文庫は昭和13年(1938)に当時の首相であった近衛文麿(近衛家29代当主)が設立し、近衛家が宮廷文化の中心として護り伝えてきた宝物を所蔵しています。国宝「御堂関白記」をはじめとする貴重な伝請品を展覧し、公家文化の精髓をご覧ください。